

施策評価シートの記載内容

施策は構成する事務事業の達成状況を集約し、総合的に評価を行います。

資料 5

1

施策名と目標

各事務事業の実施目標はP1～6を参照してください。

【第2章】第4次静岡市中期経営計画の施策及び事務事業評価 5-(2) 職員の技術習得

施策名	5-(2) 職員の技術習得
目的	この施策は、「各種研修の充実」及び「技術継承の仕組みづくり」の2つの事務事業により、職員数の減少によるサービスの低下を招かないよう、機能的な組織づくりに努め、人材育成、知識・技術の継承等を推進することで、信頼される経営の確立を目指すものである。

政策 → 施策

政策 5 信頼される経営を確立する。

- (1) 業務の効率化
- (2) 職員の技術習得
- (3) 財政の健全化
- (4) 新たな視点に立った上下水道事業の展開

2

事務事業の自己評価と外部評価

外部評価結果には、第2回経営協議会で聴取した評価意見と意見を踏まえた評価を記載しています。



1 評価結果 (R2年3月末時点)

■事務事業評価【外部評価意見等まとめ】

主要	事務事業名	自己評価結果	外部評価結果 (その他の意見)
◎	①各種研修の充実 【共通】	<p>【a評価】 各種研修の充実について、研修・資格取得計画に則った研修をR1計画どおり「実施」した。具体的な取組としては、通常の業務を一時離れて上下水道局外で行う「外部研修」と上下水道局内で実施する「内部研修」に職員が参加した。</p> <p>また、水道技術に関する資格取得度はR1計画どおり「1.4件/人」の実績で、達成率は100%となった。次に水道部と下水道部両部の外部局研修時間はR1計画どおり「8.5時間/人」の実績で、達成率は100%となった。次に水道部と下水道部両部の内部研修時間はR1計画「9.0時間/人」に対し、「9.2時間/人」の実績で、達成率は102%となった。以上のことから、「a」評価とした。</p>	<p>【a評価】 各種研修の充実については、計画どおりに進捗している。</p> <p>引き続き、研修内容の充実や職員の能動的な学習のきっかけづくり等に努めること。</p> <p>また、研修の人数や時間だけでなく、研修の目的、内容、頻度、成果の面からの検証も必要ではないか。</p> <p>【その他の意見】 達成率については、人数や時間といった数字だけでなく、「何をしたか」が大事だと思うので、活動指標に成果指標の表を、効果の部分には、どんな研修を行い、実施目標に書かれていることが、どんな内容で、どの程度行われ、目標を達成できたかが示されている方が、より効果がわかりやすいのではないかと。</p> <p>また、成果指標にある「外部研修時間」と「内部研修時間」が活動指標となり、「水道技術に関する資格取得度」が成果指標となるのではないかと。</p> <p>なお、水道技術に関する資格にはどのような種類があり、それぞれどのようなレベルのものであるのかわからないと、資格取得度の1.4件が妥当であるのかどうか判断しにくい。</p>
◎	②技術継承の仕組みづくり 【共通】	<p>【a評価】 技術継承の仕組みづくりについて、R1計画どおり「実施・検証」した。</p> <p>具体的な取組として、エスナビの受講を推進した。さらに、R2年度採用のため水道技術職員採用試験を実施した。</p> <p>また、エスナビ研修受講率はR1計画どおり「100%」の実績で達成率は100%となった。次に水道技術職員採用人数はR1計画どおり「0人」の実績となった。2つの成果指標を勘案し、「a」評価とした。</p>	<p>【a評価】 技術継承の仕組みづくりについては、計画どおりに進捗している。</p> <p>必要な技術や知識を継承することに努めるとともに、計画的に水道技術職員の採用を行い、安定した事業運営が行われるよう、技術継承の仕組みを作っていくこと。</p> <p>なお、水道技術職員の採用人数について、計画どおり0人という実績がa評価とするのに疑問が残るとして「b」とする評価もあった。</p> <p>【その他の意見】 活動指標として「技術継承の仕組み」を毎年「実施・検証」することになっているが、もう少し具体的に内容を説明していたとかなないと、行われていることを適切に外部評価することは難しい。</p>

3

事務事業の各指標と評価のまとめ(4年間)

事務事業評価シートの内容を転記しています。



■事務事業評価【外部評価結果まとめ】

主要	事務事業名	指標	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
◎	①各種研修の充実	活動指標	研修・資格取得計画に則った研修の実施	計画値	実施	実施	実施	実施
			実績値	実施				
		成果指標	水道技術に関する資格取得度	計画値	1.4件/人	1.4件/人	1.4件/人	1.4件/人
				実績値	1.4件/人			
			外部研修時間	計画値	8.5時間/人	8.5時間/人	8.5時間/人	8.5時間/人
				実績値	8.5時間/人			
		内部研修時間	計画値	9.0時間/人	9.3時間/人	9.6時間/人	10.0時間/人	
			実績値	9.2時間/人				
		達成率			計画どおり成果が出ている			
		自己評価			a			
外部評価			a					
◎	②技術継承の仕組みづくり	活動指標	技術継承の仕組み	計画値	実施・検証	実施・検証	実施・検証	実施・検証
			実績値	実施・検証				
		成果指標	エスナビ研修受講率	計画値	100%	100%	100%	100%
			実績値	100%				
		水道技術職員採用人数	計画値	0人	1人	1人	1人	
			実績値	0人				
達成率			計画どおり成果が出ている					
自己評価			a					
外部評価			a					

4

施策評価

外部評価は第4回経営協議会で確定します。

■施策評価

自己評価	A	<p>職員の技術習得について、施策を構成する全ての事務事業で計画どおりの実施となった。</p> <p>「① 各種研修の充実」の事務事業においては、成果指標である内部研修時間が計画値を上回る結果となった。</p> <p>職員数の減少によるサービスの低下を招かないよう、機能的な組織づくりに努め、人材育成、知識・技術の継承等を推進することで、信頼される経営の確立を目指す施策の目的がおおむね達成されたため、「A」評価とした。</p> <p>各事務事業に対する外部評価の際に、「活動内容が具体的にないため、評価が難しい」という意見があったことを踏まえ、活動の内容についてはより具体的な修正に記載を変更する。</p> <p>また、コロナ禍により研修への参加機会が減少するなどの影響が生じているため、オンラインの積極的な活用や、外部研修受講者から他の職員にフィードバックする機会を設けるなど、職員技術習得が効果的に行われるよう努めていきたい。</p>
外部評価		

5

改善に向けた取組

外部評価がA未満となった施策に記載します。

2 改善に向けた取組

本協議会の外部評価に対し、上下水道局から次のような取組方針が示された。

事務事業名	改善の内容
-------	-------